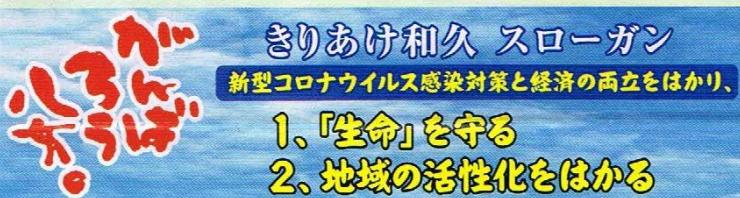




服部誠太郎知事とともに



福岡県議会議場にて



ご挨拶

福岡県議会議員

桐明 和久

皆様におかれましては、ご健勝にてお過ごしの事と存じます。

さて、昨年の六月に第七十二代福岡県議会議長に就任することが出来ました。これもひとえにご支援いただいております皆様のおかげであり、深く感謝申し上げます。

県政の課題として、三年目を迎えて、いまだ収束が見えないコロナウイルス感染症について、「県民の皆様の健康・生命を守ることを第一に、感染症対策にしっかりと取り組み、併せて国際情勢による物価高騰対策など、「社会・経済活動との両立を図る」として、県政発展のために邁進していく所存であります。

今後とも二元代表制のもと、県政の一役を担う県議会の議長として精進して参りますので、引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

本年は、癸卯(みずのとう)の年で、「これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍する年になる」と言われております。皆様にとりましてご健勝で良い年となりますことを祈念し、報告といたします。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

福岡県議会議員 きりあけ和久 県政報告 第17号

福岡県 令和4年度 当初予算

予算のポイント

- 令和4年度当初予算と国の経済対策を最大限活用した令和3年度2月補正を一体的に編成
- 令和3年度12月補正予算と合わせた切れ目のない16か月予算を編成

予算規模(一般会計)

当初予算 過去最大

2兆1,529億円

(前年度比168億円、0.8%増)

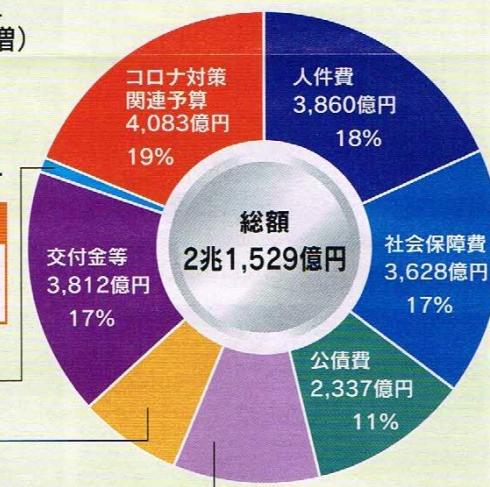
16か月予算

2兆2,672億円

当初予算

+令和4年2月補正予算274億円
+令和3年12月補正予算868億円

その他 161億円
行政施策費 1,526億円
投資的経費 2,123億円



予算の柱

1 世界を視野に、未来を見据えて、新しい一步を踏み出す

重点項目

- ①次代を担う「人財」の育成
- ②世界から選ばれる福岡県の実現
- ③成長産業の創出
- ④ワンヘルスの推進



2 新型コロナ危機を克服し、安全で強靭な地域をつくる

- ①感染対策の強化
- ②地域経済の立て直し
- ③災害からの復旧・復興
- ④防災・減災、県土強靭化

3 誰もが安心して暮らせる福岡県をつくる

- ①住み慣れたところで「働く」
- ②長く元気に「暮らす」
- ③子どもを守り「育てる」

福岡県の発展のために国へ様々な要望をしています



国土交通省 吉岡幹夫技監



国土交通省 丹羽克彦道路局長



自民党 新藤義孝政務調査会長代行



秋野公造 財務副大臣



小倉将信 子ども政策担当大臣・内閣府特命担当大臣



羽生田俊 厚生労働副大臣



野村哲郎 農林水産大臣

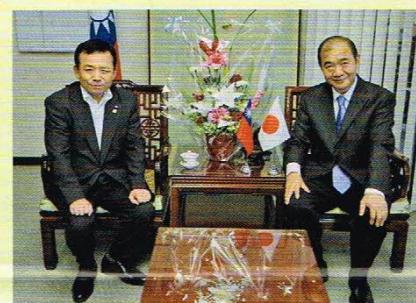


長峯誠 経済産業大臣政務官

県議会議長として各国領事館への表敬訪問



在福岡大韓民国 鄭錫均(チョン・ソクギュン)副総領事



台北駐福岡経済文化弁事処 陳銘俊処長



在福岡ベトナム社会主義共和国 ヴー・ビン総領事



在福岡タイ王国 ソールット・スックターウォン総領事

県議会議長として各種大会でのご挨拶



福岡県茶業共進会褒賞授与式・茶業振興大会



FUKUOKA SPORTS AWARD 2022 道下美里選手に特別感謝状贈呈



福岡県道路協会通常総会



福岡県戦没者追悼式



飲酒運転撲滅県民大会



福岡県酒類鑑評会



国際金融機能誘致 TEAM FUKUOKA 総会



護國神社秋季慰大祭



福岡県伝統的工芸品展



福岡県母子寡婦福祉大会



福岡県私学振興大会



筑後地区私立幼稚園振興大会 PTA研修会

第11回海外福岡県人会世界大会(ペルー・リマ)



ペルー福岡県人会からの招へいを受けて、11月15日から23日の日程で開催されました「第11回海外福岡県人会世界大会(ペルー・リマ)」に福岡県訪問団として服部知事と共に参加しました。世界大会は、3年に1度開催されており、海外において福岡県を故郷に持つ人々が親睦・交流を深めるために組織され、現在世界24ヶ国39地域にあります。県人会は、本県とそれぞれの国・地域を繋ぐ架け橋としての貴重な財産であり、県では、各県人会とのネットワークの強化に努めています。

福岡空港を15日の7時に出発し、羽田空港からヒューストン(米国)を経由し、ペルー・リマ空港には、24時に到着(日本時間との時差マイナス14時間)、ホテルに到着したのは、午前1時を過ぎていましたが、ペルー県人会の皆様が深夜にもかかわらずホテルロビーでの出迎えをいただき、感激いたしました。

記念式典には、各国よりの来賓も含めて約230名の出席があり、国歌斉唱、先亡者黙祷、主催者の大内田・アルマンド実行委員長挨拶、来賓祝辞として知事の後、県議会を代表して挨拶し、「県人会の皆様は、移住先での異なる環境の中で、幾多の困難を乗り越えられ、世代交代が進む中で様々な分野でご活躍され、今日の確固たる地位を築いてこられ、日本、本県と移住先の国との架け橋として大きな役割を果たしていただいている」と祝辞を述べました。この場には、様々な世代の方が集まっていますが、共通するものは故郷福岡への思いであると思われます。今後とも世界大会での交流・親睦を深め、若い世代の方々へも福岡のルーツがしっかりと受け継がれ、そのネットワークがさらに広がっていきます事を願っております」と祝辞を述べました。その後は、福岡県からの記念品の贈呈、「ふるさと」の合唱で式典を閉会し、引き続き開催されました歓迎セレブションにおいては、各国の余興等で大いに親睦・交流を深める事が出来ました。

翌日開催された県人会代表者会議においては、各国の代表者より各県人会の現状と課題について意見・要望がなされました。多くの県人会が後継者の育成と福岡県が実施している「移住者子弟留学生事業」や「県人会担い手育成事

業」に対しての感謝と継続、若い世代への日本語学習指導者への支援など、共通した課題として報告されました。また、次回の2025年度世界大会は、福岡での開催が決定されました。

その後は、ペルー福岡県人会役員との意見交換会、ペルー日系人協会表敬訪問、日本人ペルー移住史料館の視察、在ペルー日本国大使館表敬訪問等を行いました。その中で日系の日本人学校であった私立学校が、現在認可を受けて日系人が設立し、ペルー教育省の公認を受けた小中学校であるラ・ウニオン校を訪問いたしました。到着すると生徒さんより大歓迎の出迎えを受け、案内された多目的ホールでは、ヒグチ理事長より学校の概要説明では、「1971年に設立し、現在1200名(日系生徒約6割)の生徒で小学校6年制、中学校5年制であり、日本語授業を必須授業として取り入れている」との事であります。また、「日本の伝統文化を学ぶ授業では、ひな祭りやこどもの日、七夕、日本文化週間など、日本文化の普及を目的とした活動を実施している」との事であります。授業を見させていただきましたが、生徒さんが正座して授業を受けている姿には驚きました。質問してみると、「日本語を勉強して日本へ行ってみたい」と話してくれました。

さよならパーティでは、「第11回海外福岡県人会世界大会(ペルー・リマ)」の大成功と「ペルー宣言」が発表され、今後とも将来の県人会を担う青少年の育成を図ることや、次回開催は、3年後に福岡県で開催する事などが示されました。

今回参加し、福岡県にルーツを持つ皆様が、世界各地で活躍されており、それぞの国や地域において日本国・福岡県の友好に大きな役割を果たしていた事に感謝するとともに、現状では、4世・5世・6世となる中で必死に日本・福岡県との関係を次の世代に受け継ごうとしている事を強く感じ、またそのためにも日本語だけでなく伝統・文化や習慣も併せて日本の魅力として受け継いでいきたいとの思いを感じました。



令和5年 福岡県警年頭視閲



令和5年の新春を迎えるにあたり、福岡県警察年頭視閲が1月10日、福岡PayPayドームで3年ぶりに開催されました。

警察官約520人の行進とパトカー、白バイの行進や、災害を想定した救助訓練も公開されました。

県議会議長としての挨拶の中で、「皆さんの大変力強い部隊行進を拝見し、警察官としての崇高な使命感と熱意を強く感じました。福岡県の安全・安心を守るために、治安の維持・向上に一層のご尽力をお願いいたします」と述べました。





サンブラウン・アブデル・ハイム選手表敬



福岡県国際金融アドバイザー委嘱式



松本翔海選手優勝報告 (ISE WORLD SERIES MONTPELLIER 2022 BMXフリースタイル・パークユニアガラ)



福岡県茶共進会受賞者訪問



たくさんのお客様が
服部知事や議長室を
訪問されます



福岡県ゆかりのメダリストの栄光を称える記念碑贈呈式



八女商工会議所表敬



八女商工会議所表敬



マイマー・モハメド・シャリフ国連ハビタット事務局長訪問



マイマー・モハメド・シャリフ国連ハビタット事務局長訪問



セルギー・コルスンスキイ駐日ウクライナ特命全権大使訪問



チュカ・アシーケ在福岡主席領事着任挨拶訪問



八女市立矢部清流学園訪問



桐明輝子選手国体報告

桐明和久 第72代福岡県議会議長就任祝賀会

2022年9月28日(水) ホテル日航福岡

多数のご来賓、企業や団体、後援会の方々にご列席いただきました

